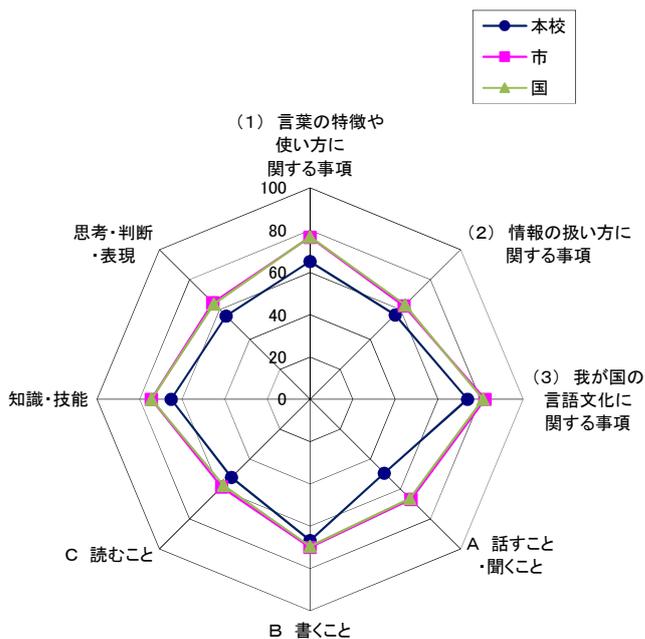


# 宇都宮市立平石北小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

## 【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	65.2	76.7	76.9
	(2) 情報の扱いに関する事項	56.5	62.4	63.1
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	73.9	82.1	81.2
	A 話すこと・聞くこと	49.3	67.0	66.3
	B 書くこと	66.7	70.0	69.5
	C 読むこと	52.2	58.6	57.5
観点	知識・技能	65.2	74.5	74.5
	思考・判断・表現	55.7	64.6	63.8
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

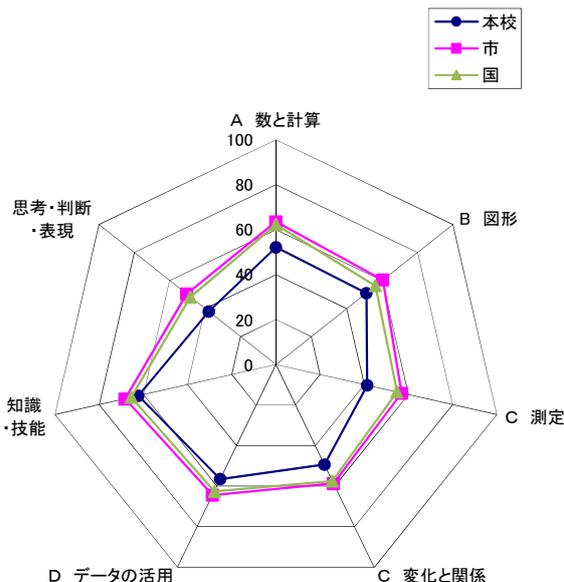
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平均正答率は65.2%で、国の平均を11.7ポイント下回った。</li> <li>●漢字を文の中で正しく使う問題では、「暑い」の正答率が52.2%で国の平均を19.9ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の学習や自主学習などで、前学年までに習った漢字を繰り返し復習させ、着実な定着を図る。</li> <li>・新出漢字を学習する中で、読み方が同じ漢字や同音異義語について調べさせ、言葉の意味の違いを意識しながら文章中で正しく使用できるようにする。</li> </ul>
(2) 情報の扱いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平均正答率は56.5%で、国の平均を6.6ポイント下回った。</li> <li>●【話し合いの記録】の書き表し方についての問題では、正答率が56.5%で国の平均を6.6ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の中で、話題の中心や発言のつながりを意識しながら話を聞くようにさせるとともに、図に表すなど分かりやすい記録の取り方を確認する。</li> <li>・学級会や校外学習の際には、学んだことを活用して記録(メモ)を取らせたり、記録(メモ)を基に話の内容を振り返らせたりする。</li> </ul>
(3) 我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平均正答率は73.9%で、国の平均を7.3ポイント下回った。</li> <li>●時間の経過による言葉の変化や、世代による言葉の違いについての問題では、正答率が73.9%で国の平均を7.3ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和語と漢語、外来語、和製英語など、関連する言葉を集めたり、意味が曖昧な言葉を国語辞書で調べさせたりすることで、語彙を増やし、言葉の使われ方や意味が時代とともに変化していくことに気付かせる。</li> </ul>
A 話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平均正答率は49.3%で、国の平均を17ポイント上回った。</li> <li>●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える問題では、正答率が39.1%で県の平均を32.7ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会や集会において、友達や教師の話の後に質疑応答の時間を設けたり、話の内容を思い出して記述させたりするなどして、話し手の意図を意識しながら聞く習慣を身に付けさせる。</li> <li>・話し合い活動を行う際には、話題の中心や発言のつながりを整理しながら聞いたり、考えを明確にしなが発言したりするよう助言する。</li> </ul>
B 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平均正答率は66.7%で、国の平均を2.8ポイント下回った。</li> <li>○ちらしの文章の構成の工夫を説明したものを選択する問題では、正答率が73.9%で国の平均を8.4ポイント上回った。</li> <li>●目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する問題では、正答率が47.8%で国の平均を13.5ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項立てなどの文章構成や図表を用いるよさについて指導するとともに、総合的な学習の時間などにおいて、調べたことを新聞やちらし、リーフレットなどさまざまな形式でまとめさせるなど、教科横断的に取り組んでいく。</li> <li>・意見文を書く際には、事実を基に自分の考えを書いたり、事実と自分の考えを区別して文章を書いたりするよう助言する。</li> </ul>
C 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平均正答率は52.2%で、国の平均を5.3ポイント下回った。</li> <li>○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つける問題では、正答率が43.5%で国の平均を2.8ポイント上回った。</li> <li>●事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑え、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題では、正答率が39.1%で国の平均を12.2ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の資料を関連付けて考えさせたり、文章と図表などを結び付けて考えさせたりすることで、必要な情報を見つけながら文章の内容を読み取るようにさせる。</li> <li>・文章を読む際に、事実と筆者の意見を線を引かせるなどして区別したり、頭括型・尾括型・双括型などの文章構成を捉えさせたりすることで、筆者の主張や要旨を捉えさせる。</li> </ul>

# 宇都宮市立平石北小学校第6学年【算数】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	52.2	63.6	62.3
	B 図形	51.1	60.4	56.2
	C 測定	41.3	56.9	54.8
	C 変化と関係	49.3	58.6	57.5
	D データの活用	56.5	64.4	62.6
観点	知識・技能	62.3	68.3	65.5
	思考・判断・表現	37.9	50.4	48.3
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

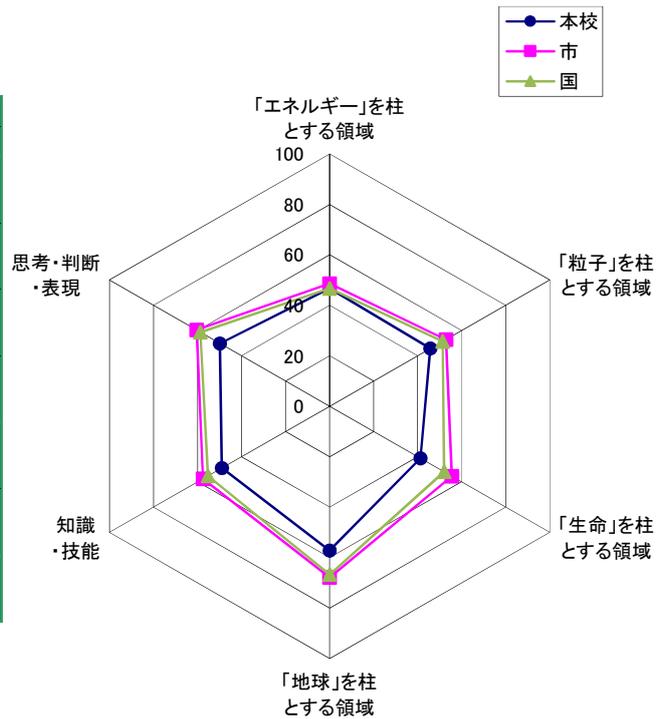
分類・区分	本年度の状況	
	○良好な状況が見られるもの	●課題が見られるもの
A 数と計算	<p>・本校の平均正答率は52.2%で、国の平均を10.1ポイント下回った。</p> <p>○データから数値を読み取り、何倍かを読み取る問題では、正答率が73.9%で国の平均と同等であった。</p> <p>●示された資料から必要な情報を選び数量の関係を式に表し計算する問題では、正答率は43.5%で全国平均を31ポイント下回った。</p>	<p>・問題文から解答を導くのに必要な情報を見落とさずに読み取るために、類似した問題に繰り返し取り組ませる。</p>
B 図形	<p>・本校の平均正答率は51.1%で、国の平均を5.1ポイント下回った。</p> <p>○台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題では、正答率が65.2%で全国平均を15ポイント上回った。</p> <p>●基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述する問題では、正答率が17.4%で全国平均を19.6ポイント下回った。</p>	<p>・五角形を2つに分けて面積を求める際に、どちらの方法がより求めやすいかを判断する力を培うために、様々な応用問題に取り組ませる。</p>
C 測定	<p>・本校の平均正答率は41.3%で、国の平均を13.5ポイント下回った。</p> <p>●ともなって変わる2つの数量の関係に着目し問題を解決するために必要な数量を見いだしたい数量の大きさのもとめ方を式や言葉を用いて記述する問題では、正答率が34.8%で全国平均を13.9ポイント下回った。</p>	<p>・日常生活の中で、様々な目盛りを読み取る機会を増やし、1目盛りの値がいくつを表しているのかの理解を深められるようにする。</p>
C 変化と関係	<p>・本校の平均正答率は49.3%で、国の平均を8.2ポイント下回った。</p> <p>○10%増量の意味を解釈し、増量後の量が増量前の量の何倍になっているかを表す問題では、正答率が47.8%で全国平均を6.9ポイント上回った。</p> <p>●ともなって変わる2つの数量の関係に着目し問題を解決するために必要な数量を見いだす問題では、正答率が65.2%で全国平均を17.6ポイント下回った。</p>	<p>・2つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだせるよう、様々な応用問題に取り組ませる。</p>
D データの活用	<p>・本校の平均正答率は56.5%で、国の平均を6.1ポイント下回った。</p> <p>○目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断しその理由を言葉や数を用いて記述する問題では、正答率が34.8%で全国平均を3.8ポイント上回った。</p> <p>○簡単な二次元の表から条件にあった項目を選ぶ問題では、正答率が73.9%で全国平均を2.3ポイント上回った。</p> <p>●ともなって変わる2つの数量の関係に着目し問題を解決するために必要な数量を見いだす問題では、正答率が65.2%で全国平均を17.6ポイント下回った。</p>	<p>・社会や理科や総合的な学習の時間等でも、グラフを活用する機会を作り、様々な表やグラフを読み取ったり、目的に応じて表やグラフに表したりする場を設けていく。</p>

# 宇都宮市立平石北小学校第6学年【理科】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	「エネルギー」を柱とする領域	46.7	48.6	46.7
	「粒子」を柱とする領域	45.7	52.8	51.4
	「生命」を柱とする領域	41.3	55.5	52.0
	「地球」を柱とする領域	57.2	67.9	66.7
観点	知識・技能	48.9	57.5	55.3
	思考・判断・表現	49.8	60.4	58.7
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
「エネルギー」を柱とする領域	<p>・本校の平均正答率は46.7%で、国の平均と同率であった。</p> <p>○電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てた時だけ、ベルがなる回路を選ぶ問題では、正答率が52.2%で国の正答率を9.3ポイント上回った。</p> <p>●乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ問題では、正答率が39.1%で国の正答率を16ポイント下回った。</p>	<p>・電気の流れについて調べる学習において、実験した結果を図を用いてまとめたり、言葉を使って説明したりする活動や実験を多く取り入れ、学習内容の定着を図る。</p>
「粒子」を柱とする領域	<p>・本校の平均正答率は45.7%で、国の平均を5.7ポイント下回った。</p> <p>○アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ問題では、正答率が21.7%で国の正答率を11.1ポイント上回った。</p> <p>●海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ問題では、正答率が43.5%で国の正答率を16.3ポイント下回った。</p>	<p>・水の温度による変化について、実験を通して体験的に学ぶ活動を取り入れる。また、実験を通して分かったことについて考えを交流させたり、ノートにまとめたり、振り返りをさせたりし学習内容の定着に力を入れる。</p> <p>・ニュースや新聞等から得た情報に対し関心をもたせたり、実験結果と日常生活を関連付けて疑問や興味をもたせたりする場を意図的に設定する。</p>
「生命」を柱とする領域	<p>・本校の平均正答率は41.3%で、国の平均を10.7ポイント下回った。</p> <p>●レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見いだした問題について書く問題では、正答率が13.0%で国の平均正答率を16.9ポイント下回った。</p> <p>●ヘチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選ぶ問題では、正答率が47.8%で国の正答率を14.2ポイント下回った。</p>	<p>・文章などの情報量が多い問題について、無回答率が高い傾向にある。類似の問題に取り組みさせることで、多くの情報から問われている内容を読み取れるようにする。</p> <p>・問題に対して仮説を考えたり、実験や観察から分かったことを考察したりさせ、単元を通して自分の言葉で考えを表現する力を育成する。</p>
「地球」を柱とする領域	<p>・本校の平均正答率は57.2%で、国の平均を9.5ポイント下回った。</p> <p>○水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ問題では、正答率が同じ60.9%で国の平均正答率を3.4ポイント上回った。</p> <p>●水が陸から海へ流れていくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ問題では、正答率が43.5%で国の正答率を17.4ポイント下回った。</p>	<p>・実験や観察の結果をまとめる時間を確保したり、単元のまとめでは科学的根拠を基に文章で表現する時間を確保したりし、自然現象についての知識や表現力を高められるよう育成する。</p> <p>・AI型学習や図書資料のほかに、新聞やテレビ等の社会から得られる情報を活用し、学習内容に興味関心をもてるようにする。</p>

## 宇都宮市立平石北小学校 第6学年 児童質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに対して、本校の肯定的回答は95.7%で、全国平均を8.8ポイント上回っている。日頃から児童一人ひとりに丁寧に接するよう心掛けるほか、児童が活躍する場面を意図的に設けたり、よさを認める声かけを継続したりしていく。

○「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒にあそんでもらったりすることがありますか」という問いに対して本校の肯定的回答は56.5%で、全国平均を17.1ポイント上回っている。学校での教育活動でも積極的に地域の方々とのつながりを作れるよう継続していく。

○「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していませんか」という問いに対して、78.2%で全国平均を9.6ポイント上回っている。発表することに積極的・前向きに取り組む児童が多い。対話的活動や、日常的な「書く・話す・聞く」活動を充実させることで、自分の考えをより深めたり広める力をつけさせたい。

●「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という問いに対して、肯定的回答は82.6%で、県平均を9.3ポイント下回っている。周りを見て友達と協力して行動できる児童もいる反面、自分本位な行動をとってしまう児童もいる。日々の生活の中でも引き続き、様々な人と関わり、接していく場面を設けていく。

●「国語の勉強は好きですか」という問いの肯定的回答は47.8%で、全国平均に対し10.5ポイント下回っている。「国語が大切なことは理解しているが難しい、苦手意識がある」という児童の現状が見える。TTや個別指導なども有効活用し、国語が苦手な児童も「わかる」授業を実施していく。

●「算数の授業の内容はよくわかりますか」という問いに対して、本校の肯定的回答は65.2%で、全国平均を13.1ポイント下回っている。高学年になり内容に難しさを感じ、苦手意識をもっている児童が多いと思われるが、習熟度別学習や個別指導なども有効活用し、算数が苦手な児童も「わかる」授業を実施していく。

## 宇都宮市立平石北小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成 ～対話的活動を効果的に取り入れた授業づくりを通して～	・宇都宮モデルの指導の質的向上 ・学習課題を明確にして深い学びのある対話的活動の充実 ・活発なコミュニケーション活動の充実 ・日常的な「書く」「話す・聞く」活動の充実 ・個に応じた指導の充実	国語科では、全領域において国の平均を下回った。その中でも、「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」において国平均に比べて低かった。課題解決に向けた語彙力の不足や話し手の意図を意識しながら聞き必要な情報を得ること、自分の思いや考えをまとめて発言することが難しいという傾向が見られた。 算数科も、国の平均を下回った。「数と計算」「測定」において国平均と比べて低い結果となった。資料から必要な情報を選び数量の関係を式に表したり、数量の大きさの求め方を言葉を用いて記述することに課題がみられた。

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
宇都宮モデルを意識した授業を行ってきたが、読解力（語彙力）の育成、自分の考えをまとめ整理する力、数や計算のきまりの定着などに課題が残った。基礎力を問う問題の中でも、思考力・判断力・表現力等を問う問題に課題がみられる。	・各教科において基礎・基本内容の確かな習得 ・得られた知識・技能を活用しながら、対話的活動を効果的に取り入れた課題探究学習 ・対話的活動を通し、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。	十分に定着していない内容を見直し、フォローアップ問題やAI型学習等を計画的に活用し、基礎・基本の習得を図る。また、対話的活動を効果的に取り入れた課題探究学習に取り組む場を設けたり、読解力と併せて語彙力も育めるような授業の展開に取り組む。情報・資料活用能力が育成できるように効果的な学習形態や活動の場を設定し、発展的且つ補充的学習の定着を目指す。